

## 女子相撲選手権大会で見事優勝

### 多久高校相島由果さん優勝報告

第16回全日本女子相撲選手権大会の重量級で見事優勝に輝いた、多久高校3年の相島由果さんが10月17日、横尾市長に優勝報告をしました。横尾市長は「体調に気をつけて、さらに活躍されることを願っています」と激励。

重量級には各県の予選を勝ち抜いた高校生から一般までの10人が出場。決勝では柔道の内股に似た「掛け投げ」で見事日本一となりました。

相島さんは柔道部に所属し、今年6月の高校総体では女子個人78kg級に出場し、見事優勝。

相撲部の野路富斗志監督は「体も柔らかいし、瞬発力もある生徒で、負けん気も強いです」と期待。相島さんは「来年佐賀で全国大会がありますが、一試合一試合勝てるよう頑張りたいです」と抱負を語りました。

▲優勝報告する相島由果さん（写真中央）  
（写真左小池雅文校長、写真右野路富斗志監督）

## 地域に愛される店を目指して

### フードウェイ多久店オープン

フードウェイスーパーセンター多久店が11月9日、コーリー跡地にオープンしました。

フードウェイは、株式会社ハイマートが経営するショッピングセンターで、多久店は佐賀県で3店舗目となります。

たくさんの人で列ができた店の前では、オープニングセレモニーが行われ、杉の子保育園園児32人がマーチングを披露。開店に華を添えました。後藤圭介社長は「衣食住の全てをそろえ、笑顔の接客で地域に愛される店にしたいです」と挨拶しました。

後藤社長や横尾市長らのテープカットで開店すると、待ちわびた人で店内はいっぱいになり、お目当ての品に手を伸ばしていました。



▲オープニングセレモニーで杉の子保育園の園児がマーチングを披露

◀オープンしたばかりの店内は人でいっぱい

## シルバー人材センターボランティア作業

10/27

多久市社会福祉協議会シルバー人材センターでは、毎年10月の普及啓発月間に合わせボランティア活動に取り組んでいます。

今年には会員50人が天山斎場への道の草刈と側溝に詰まっていた落ち葉や枯れ木の除去作業や、北部公園の雑木の伐採作業を行いました。約4時間の作業で、雑木やごみがダンプ7台分にもなり、不法投棄の場所にもなっていた所で、「すっきり手入れ出来て良かった」と会員はまちの美化活動に汗を流していました。



## 『ひろえば街が好きになる運動』展開

10/20

佐賀たばこ販売協同組合小城多久支部のみなさんが、多久市役所前から北多久郵便局までの環境美化活動に取り組みました。

『ひろえば街が好きになる運動』と書かれたグリーン旗とエプロン姿で、タバコの吸い殻をはじめ、空き缶などのごみを約1時間かけて拾いました。今回集まったごみは約7袋でしたが、参加者からは「国道・県道沿いでもタバコの吸い殻が意外と多かった。みなさん捨てないで」と呼びかけました。

